

三遠南信地域連携ビジョン

< 第Ⅱ期 重点プロジェクト 工程表 > (案)

5つの基本方針と重点プロジェクト一覧



基本方針別 重点プロジェクト一覧

つながる・ひろがる

道

1. 中部圏の中核となる地域基盤の形成

人・もの・情報の流動を進め、「中部圏の中核となる地域基盤の形成」を目指します。

＜重点プロジェクト＞	項 目	No.
①三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現	1－①	1
②三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実	1－②	2
③リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置	1－③	3
④豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進	1－④	4
⑤県境を越えるマスコミの連携	1－⑤	5

産業競争力の強化

枝

2. 持続発展的な産業集積の形成

既存産業の活力増進を図るため、人材・労働力の確保・育成や、未利用資源の有効活用を図るとともに、広域的な産業連携、大学連携等や海外・国内からの投資を促し、特徴ある持続的な産業集積の形成を目指します。

＜重点プロジェクト＞	項 目	No.
①三遠南信ビジネスマッチングの促進	2－①	6
②国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進	2－②	7
③特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携	2－③	8
④三遠南信地域大学フォーラムの設置	2－④	9

価値を高める

風

3. 塩の道エコミュージアムの形成

三遠南信地域の歴史的な「塩の道」に沿った文化発信やプラットホームを整備し、「塩の道エコミュージアムの形成」を目指します。

＜重点プロジェクト＞	項 目	No.
①「塩の道」風景街道の体制づくり	3－①	10
②地域資源を活かす鉄道の有効活用	3－②	11
③海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進	3－③	12
④三遠南信アンテナショップの開設	3－④	13

中山間地域の活性化

山

4. 中山間地域を活かす流域モデルの形成

自然資源の循環や流域での定住化等の推進を図り、中山間地域を活かした新しい地域発展のための流域モデルの形成を目指します。

＜重点プロジェクト＞	項 目	No.
①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進	4－①	14
②上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備	4－②	15

安心できる暮らし

住

5. 広域連携による安全・安心な地域の形成

医療・福祉や教育の充実、外国人との多文化共生、防災対策など、住民の生活環境の維持と向上を広域連携によって推進し、安全・安心な地域の形成を目指します。

＜重点プロジェクト＞	項 目	No.
①医療分野の県境を越える連携の促進	5－①	16
②三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進	5－②	17
③県境を越える防災体制の強化	5－③	18

重点プロジェクト：10年間のビジョン計画期間内において、重点的に推進する事業。20～23年度を第Ⅰ期、24～26年度までを第Ⅱ期、27～29年度までを第Ⅲ期として、報告・評価・見直しを行いながら実施。

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	1			
区分	道			
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成			
項目	1－①			
推進方針	三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現			
主要施策	三遠南信250万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結ぶ日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現に向けた取り組みを推進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 期成同盟会等を通じた国等への働きかけ 三遠南信自動車道：鳳来峡IC－浜松いなさJCT間 H24.3.4開通 三遠南信自動車道 現道区間：国道152号 向井万場拡幅（豆嵐橋、豆嵐トンネル） H23.7.3開通	三遠南信自動車道の平成20年代後半の全線開通を目指し働きかけ		
実施内容 （平成23年度以降）	○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会によるPR活動（19年度～） ○三遠南信道路建設促進期成同盟会（3県・市町村）による国土交通省等への要望活動（H23.6.14、H23.6.22、H23.12.12・15） ○三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会による要望活動（H23.6.28） ○三遠南信道路建設促進遠州地域期成同盟会による要望活動（H23.7.7） ○三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会による国土交通省等への要望活動（H23.6.28・29） ○三遠南信自動車道早期開通期成同盟会による要望活動（H23.11.17） ○飯橋道路3工区建設促進期成同盟会の設立（H23.6.2） ○浜松市による国への国直轄による早期事業化の要望活動（H23.7.7）（H24.3.29） ○飯田商工会議所による国土交通省への要望活動（H23.8.25）			
推進主体	＜ 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会 ＞ ＜ 商工会議所・商工会、自治体 ＞			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	2			
区分	道			
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成			
項目	1－②			
推進方針	三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実			
主要施策	国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した（シームレス）ネットワークを形成します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 協議会等を通じた国への働きかけ	協議会等を通じた国等への働きかけ 地域の回遊性などを高め、受け入れ態勢の整備		
実施内容 （平成23年度以降）	○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会による要望活動（H23.6.28） ○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会による要望活動（H23.10.28） ○国道23号蒲郡バイパス建設促進協議会による要望活動（H23.8.18） ○名豊道路建設促進協議会による要望活動（H23.8.17、H23.10.28） ○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動（H23.8.17） ○三河港振興会による整備促進等の要望活動（H23.5.11、H23.7.7） ○御前崎港整備促進期成同盟会、御前崎振興会による国土交通省への要望活動（H24.2.15）			
推進主体	＜ 各期成同盟会、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会 ＞ ＜ 商工会議所・商工会、自治体 ＞			

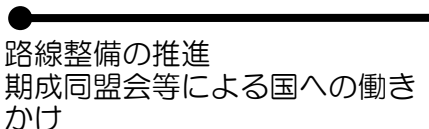
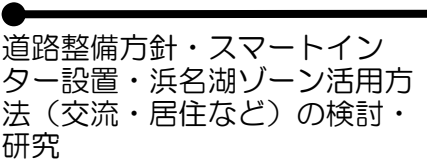
第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	3			
区分	道			
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成			
項目	1－③			
推進方針	リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置			
主要施策	リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 事業促進に関する取り組みへの協力・国等への働きかけ （関係機関との連携）	早期開業に関する取り組みへの協力・国等への働きかけ （関係機関との連携）		
実施内容 （平成23年度以降）	○第17回三遠南信サミット2009 in 東三河のサミット宣言において「新たな東西軸を形成するリニア中央新幹線 飯田駅の設置に向けて、SENAを中心に、地域一丸となって提案活動を進める。」と宣言（H20～） ○飯田市によるリニア中央新幹線飯田駅整備推進基金設置（H22.4～） ○同盟会によるシンポジウムの開催（H23.9.10） ○同盟会によるJR東海との面談及び要望書の提出（H23.6.9） ○リニア中央新幹線建設促進長野県協議会による国土交通省への要望書提出（H23.7.13） ○同盟会によるJR東海との協議（H23.9.7、H23.9.16） ○同盟会による環境影響評価方法書への意見提出（H23.11.10）			
推進主体	＜ 期成同盟会、商工会議所・商工会、自治体 ＞			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	4			
区分	道			
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成			
項目	1－④			
推進方針	豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進			
主要施策	浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表				
実施内容 (平成23年度以降)	○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会による要望活動（H23.6.28） ○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会による要望活動（H23.12.13） ○名豊道路建設促進協議会の要望活動（H23.8.17） ○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会の要望活動（H23.8.17） ○新東名高速道路の整備促進の働きかけ 平成24年度 御殿場JCT－三ヶ日JCT間（H24.4.14開通） 平成26年度 浜松いなさJCT－豊田東JCT間 開通予定			
推進主体	＜ 自治体、商工会議所・商工会 ＞			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	5			
区分	道			
政策の基本方針	中部圏の中核となる地域基盤の形成			
項目	1－⑤			
推進方針	県境を越えるマスコミの連携			
主要施策	三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表				
	情報提供の継続			
工程表				
	三遠南信地域のマスコミによる 意見交換、情報交換形態の検討			
実施内容 (平成23年度以降)	○「エフエムHaro」・「エフエム豊橋」・「飯田エフエム」3局合同番組の放送（通年） ○中日新聞「三遠南信紀行」への情報提供（23年度5回） ○中日新聞による「東三河・南信」レターの新聞掲載（毎週日曜日） ○南信州新聞による「三遠南信見聞録」の新聞掲載（毎月） ○信濃毎日新聞社による「三遠南信をテーマとした連載」（随時） ○浜松市・豊橋市・飯田市広報紙による情報掲載（毎月）・合同企画（2年に1回:H24.3月）			
推進主体	＜ 自治体、商工会議所・商工会、新聞社、テレビ・ラジオ放送局 ＞ マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会などと意見交換を行い、連携活動を検討します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	6			
区分	技			
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成			
項目	2－①			
推進方針	三遠南信ビジネスマッチングの促進			
主要施策	三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 地域金融機関による 連携事業の実施			
	経済団体によるビジネスマッチ ング事業の実施	 情報交換・発信機会の設置 企業交流の実施		
実施内容 (平成23年度 以降)	○三遠南信3シンクタンク連携協定（H21.5.23） ○ビジネスマッチングフェアinHamamatsuの開催（H23.7.20～7.21） ○三遠南信（8信金）しんきんサミット&しんきん物産展（H23.10.22） ○合同人脈交流会（H23.7.21）			
推進主体	＜ 商工会議所・商工会、自治体、金融機関、企業 ＞ 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	7			
区分	技			
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成			
項目	2-②			
推進方針	国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進			
主要施策	「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表				
	人材・企業誘致活動の推進	連携企業誘致活動の検討 ポータルサイトの整備、相談窓口の充実化の検討		
	起業支援・人材育成事業の実施	起業支援事業のフォローアップ		
実施内容 (平成23年度以降)	○各市町村による人材・企業誘致活動の実施（随時） ○三遠南信地域社会雇用創造事業の実施（H22.3.24～24.3.31） ○三遠南信地域資源情報データベースをSENAホームページに掲載（H23.6.6）			
推進主体	＜ 自治体、商工会議所・商工会、金融機関、企業 ＞ 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	8			
区分	技			
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成			
項目	2－③			
推進方針	特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携			
主要施策	世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	● 広域拠点づくり、産業クラスターづくりの推進			
	● 三遠南信（浜松・豊橋・飯田）地域基本計画に基づく事業の推進（26年度まで）			
実施内容 （平成23年度以降）	○三遠南信クラスター推進会議の各種事業の実施（22年度～） ○地域イノベーション戦略推進地域に選定 浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション（H23.8.1） ○三遠南信地域基本計画 同意（H22.3.25～H26.3.31） ○三遠南信地域産業活性化協議会（浜松市・豊橋市・飯田市）の事業（22年度～） ○産学官連携ネットワーク協議会の事業（H21.8～） ○はままつ次世代環境車社会実験協議会による社会実験（H22.5.17～）三遠南信地域への活動エリアの拡大（H23年度）			
推進主体	＜ 産業支援機関、自治体、大学 ＞ 三遠南信クラスター推進会議が中心となり、浜松商工会議所、豊橋商工会議所、はままつ産業創造センター、㈱サイエンス・クリエイト、（財）飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。			

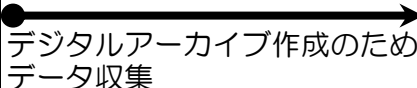
第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	9			
区分	9 技			
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成			
項目	2-④			
推進方針	三遠南信地域大学フォーラムの設置			
主要施策	三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	連携組織設置の検討・準備  大学フォーラム準備検討会の開催（愛知大学、豊橋技術科学大学、静岡文化芸術大学の学長等による検討） 大学フォーラム準備検討会 大学シンポジウム開催準備会 大学シンポジウム	 大学連携検討会議 大学シンポジウム等の開催		
実施内容 （平成23年度以降）	○大学フォーラムの設置に向けた検討会議の開催（H22.7～H23.4 3回開催） ○大学シンポジウム開催準備会の開催（H23.7～H24.2 4回開催） ◎三遠南信地域大学シンポジウム開催（H23.10.24） ◎三遠南信地域における官民連携主体による地域づくり推進事業（国土交通省事業）H23～			
推進主体	＜ 大学、企業、自治体、商工会議所・商工会、住民団体 ＞ 三遠南信地域をフィールドとする大学等を中心に、事業内容を検討します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	10			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道エコミュージアムの形成			
項目	3-①			
推進方針	「塩の道」風景街道の体制づくり			
主要施策	三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往来の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 デジタルアーカイブ作成のため データ収集	 県境を越えた連携事業の推進 地域資源などの情報整理・発信		
実施内容 (平成23年度以降)	○デジタルアーカイブの作成に向けた画像データの収集 ○秋葉街道信遠ネットワークによる活動（H21～） ○三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会主催により「第18回ふるさと歌舞伎交流湖西大会（H23.11.27）」開催。 ○三遠南信住民ネットワーク協議会の設立。			
推進主体	< SENA、自治体、商工会議所・商工会、住民団体 > 三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	11			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道エコミュージアムの形成			
項目	3-②			
推進方針	地域資源を活かす鉄道の有効活用			
主要施策	塩の道エコミュージアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	● 各地域ごとの事業推進			→
		● 鉄道と観光資源のネットワーク 化の検討		→
実施内容 (平成23年度 以降)	○天竜浜名湖線市町会議による天竜浜名湖線の活用促進事業（H20～）			
推進主体	＜ SENA、鉄道業者、観光会社、自治体、商工会議所・商工会 ＞ 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	12			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道エコミュージアムの形成			
項目	3-③			
推進方針	海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進			
主要施策	三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	国際インバウンドツーリズムの推進 海外旅行代理店、ランドオペレーターへの働きかけ	海外への観光情報の発信と外国人観光客誘致等の検討		
実施内容 (平成23年度以降)				
推進主体	< 自治体、商工会議所・商工会、観光関係者 > 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	13			
区分	風土			
政策の基本方針	塩の道エコミュージアムの形成			
項目	3-④			
推進方針	三遠南信アンテナショップの開設			
主要施策	三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	● 社会実験の実施（東三河） 三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施 社会実験の実施（南信州） 社会実験の評価 24年度以降の事業計画の検討	社会実験の総括・アンテナショップの検討	24年度検討に基づく事業実施	
実施内容 （平成23年度以降）	○各団体による物産展の実施 ○SENA主催により「三遠南信イチオシ逸品展」を飯田市で開催（H23.8.6～8.7）			
推進主体	＜ SENA、自治体、商工会議所・商工会、観光関係者、生産者、有識者 ＞ 自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農林水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	14			
区分	山			
政策の基本方針	中山間地域を活かす流域モデルの形成			
項目	4－①			
推進方針	「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進			
主要施策	地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プランの実施			
	 各団体による国等への働きかけ			
実施内容 (平成23年度以降)	○中部圏広域地方計画（三遠南信流域都市圏活力向上PJ：天竜川流域における山地から海岸までの一貫した総合的土砂管理や多様な主体による上下流連携の促進） ○豊川水系総合開発促進期成同盟会、愛知県豊川改修工事促進期成同盟会、東三河県営水道受水団体協議会、豊川用水二期事業促進協議会、東三河商工会議所・商工会による設楽ダムの要望活動（H23.7.5、H23.9.28）			
推進主体	＜ SENA、自治体、商工会議所・商工会、大学、環境団体、国、県 ＞ 国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。			

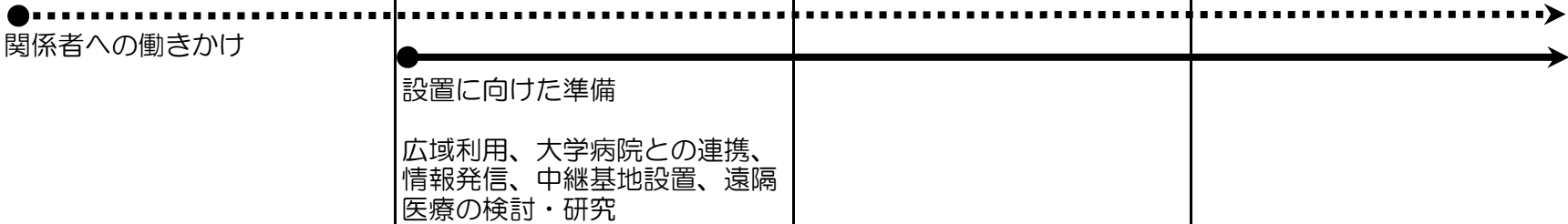
第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	15			
区分	山			
政策の基本方針	中山間地域を活かす流域モデルの形成			
項目	4-②			
推進方針	上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備			
主要施策	下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	● 各団体による取り組み	→		
	● 各団体の連携による事業の検討 データベース化、情報発信機能、活用支援体制の検討	推進体制、データベース化、整備方針、仲介機能、情報発信機能、活用支援体制の検討	→	
実施内容 (平成23年度以降)	○東三河シニアリフレッシュ事業「極・奥三河」地域体験プログラム（H23.7～23.11） ○南信州定住自立圏構想の取り組み（H21.3.24～） 定住自立圏形成協定の締結（H21.7.14）救急医療体制の確保等に圏域内で連携して取り組む。 病児・病後児保育事業（H22.10.12追加協定）、図書館ネットワークシステムの構築（H22.12.27追加協定） ○浜松市中山間地域振興計画の推進（H22.4.1～）			
推進主体	＜ SENA、自治体、所有者、管理者、地域住民、企業、商工会議所・商工会 ＞ 上下流域自治体による検討体制を設けます。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	16			
区分	住			
政策の基本方針	広域連携による安全・安心な地域の形成			
項目	5-①			
推進方針	医療分野の県境を越える連携の促進			
主要施策	住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表				
実施内容 (平成23年度以降)	○医療機関、休日夜間緊急医の検索システムの活用 （ながの医療情報Net）（愛知県救急医療情報システム）（医療ネットしずおか） ○浜松市と豊橋市、新城市、南信州広域連合による航空消防応援協定の締結（H22.3.30） ○浜松市と豊川市、蒲郡市、田原市による航空消防応援協定の締結（H22.6.29） ○南信州定住自立圏構想の取り組み 病児・病後児保育事業（定住自立圏形成協定の追加協定）（H22.10.12） ○浜松市、新城市、設楽町、東栄町、及び豊根村の消防相互応援協定（H24.3.4）			
推進主体	＜ 自治体、医療機関、医師会、大学、SENA ＞ 自治体が中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	17			
区分	住			
政策の基本方針	広域連携による安全・安心な地域の形成			
項目	5-②			
推進方針	三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進			
主要施策	三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 公共施設の広域的利用の推進	 公共施設情報の収集、データベース化、ポータルサイトの構築、広域的な利用の仕組みづくりの検討		
実施内容 (平成23年度以降)	○南信州定住自立圏構想の取り組み 図書館ネットワークシステムの構築（定住自立圏形成協定の追加協定）（H22.12.27） ○浜松市・豊橋市・飯田市美術館連携「三遠南信交流展 ミュージアム・サミット-美の競演」の開催 浜松市美術博物館・秋野不矩美術館（H24.2.24～3.25）			
推進主体	< 自治体、地域住民 > 自治体を中心となって、事業を推進します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成24年7月2日時点

No.	18			
区分	住			
政策の基本方針	広域連携による安全・安心な地域の形成			
項目	5－③			
推進方針	県境を越える防災体制の強化			
主要施策	東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。			
年度	平成23年度まで 2009.4～2012.3	平成24年度 2012.4～2013.3	平成25年度 2013.4～2014.3	平成26年度 2014.4～2015.3
工程表	 圏域内消防の広域連携活動 （合同会議 三遠南信地区消防本部の開催） 圏域内消防の広域連携活動 （三遠南信地域消防連絡会の開催）	 連携強化、充実に向けた取り組み 協定への必要な追加項目の検討 防災に関する関係機関の相互協力の充実		
実施内容 （平成23年度以降）	○三遠南信災害時相互応援協定（H8.7～） ○航空消防応援協定締結（浜松市と東三河5市町村及び南信州14市町村）（H22.3.30）、施行（H22.7.1～） ○航空消防応援協定締結（浜松市と東三河3市）（H22.6.29）、施行（H22.7.1～） ○浜松市、新城市、設楽町、東栄町、及び豊根村の消防相互応援協定（H24.3.4）			
推進主体	< 自治体（消防・防災・環境）、自主防災会、消防団 > 自治体が中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します。			